令和7年度のがん検診の実施状況について

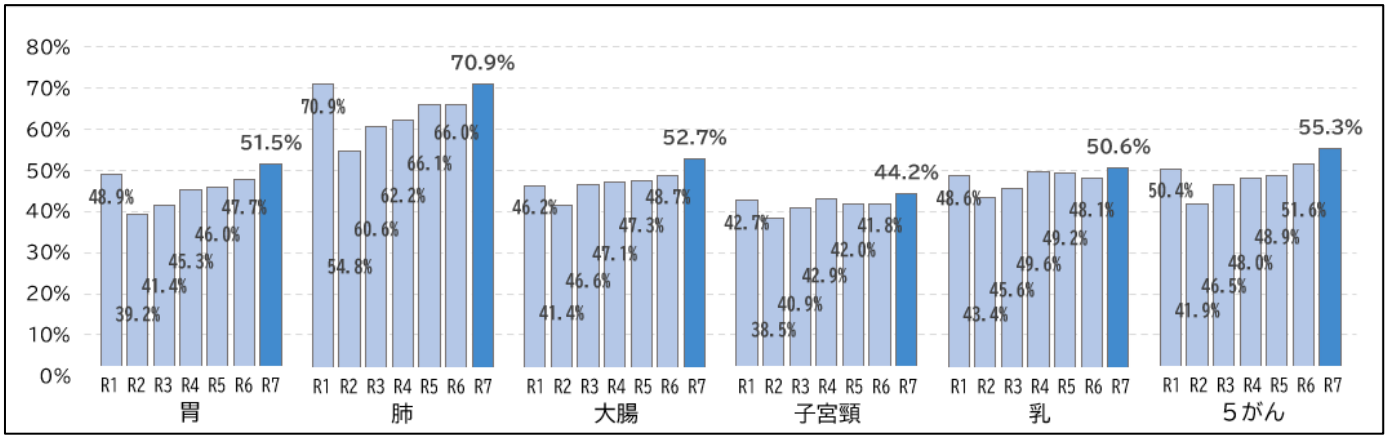
令和7年度の受診率（70歳未満）は、55．3%

令和7年度のがん検診（胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん）の受診率（70歳未満）は、55.3%となり、対前年度比3.7 ポイント上昇しました。がん種別の受診率は、胃がん51.5%、肺がん70.9%、大腸がん52.7%、子宮頸がん44.2%、乳がん50.6%となっています。

◆令和7年度のがん検診受診者数と受診率（70歳未満）

がん種	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん	5がん
受診者数	101,039	202,476	150,493	91,323	72,233	617,564
受診率	51.5%	70.9%	52.7%	44.2%	50.6%	55.3%

◆がん検診受診率の推移



※この受診率は、県内の市町と職域を合わせた全数調査により、福井県が独自に算定。
※子宮頸がん、乳がんは市町・職域検診ともに隔年受診が原則であるため、当該年度および前年度の2年間の受診者数を基に受診率を算定。
※胃がん検診は、国の指針により隔年受診が原則となったため、市町検診については平成29年度から当該年度および前年度の2年間の受診者数を基に算定。職域検診については、令和6年度から2年間の受診者数を基に算定。

今後は、

① 受診対象者に対し、市町による受診券や無料クーポン券の交付を促進
② 職域検診や個別検診の推進による受診機会の拡大
③ 県内検診機関および受診勧奨センターによる未受診者への再勧奨の強化
④ 地元メディアや SNS 等を活用した受診啓発活動

など、受診機会の拡大や受診しやすい環境づくりに努めていきます。

（参考）

〇福井県の独自調査による受診率の算定について

国の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づき受診率を算定しています。

種類	対象年齢	受診間隔	県内対象者
肺がん	40～69 歳	毎年	２８５，４２５人
大腸がん	40～69 歳	毎年	２８５，４２５人
胃がん	50～69 歳	２年に１回	１９６，００５人
子宮頸がん	20～69 歳	２年に１回	２０６，４６４人
乳がん	40～69 歳	２年に１回	１４２，８５０人

対象者：令和7年国勢調査より算出